



監督: ショーン・ペン



父はアメリカ最大級の
贗札事件の犯人だった――

フラッグ・デイ

父を想う日



ディラン・ペン

ショーン・ペン

この愛は消えない。

それでも、

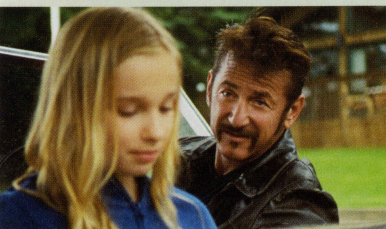


家族の絆が今この時代を生きる私たちの胸を熱くする驚愕の実話

INGENIOUS MEDIA, NEW ELEMENT MEDIA and ROCKEY SCIENCE present a VOOCO PRODUCTIONS / FLAG DAY production. Produced by VOOCO PRODUCTIONS with the participation of VOOCORBA FILM & MUSIC. Cast: Dylan Penn, Sean Penn, Dylan McDermott, Matt Henderson, Michael Eklund, Peter Onorati, Michael Eklund, Peter Onorati, Michael Eklund, Peter Onorati. Executive Producers: Michael Eklund, James Cameron, Tobias Schleich, Vincent Marotta, Simon Pegg, Alan Liu, Peter Onorati, Christine Comans, Yusaku Kashiwa, Ron Winkler. Produced by William Hoberg, G.S. Jon Nikk, & a TEAMWORK FILMS, S.A. Based upon the book "FLAG DAY" by LAWRENCE HOGEL. Screenplay by JESSE KATZBERG & JESSIE KATZBERG. Directed by SEAN PENN. Screenplay: Adam Mahaloff on Screen. Screenplay: Adam Mahaloff on Screen. Screenplay: Adam Mahaloff on Screen.



アカデミー賞®に2度輝く名優ショーン・ペンの 監督・主演最新作



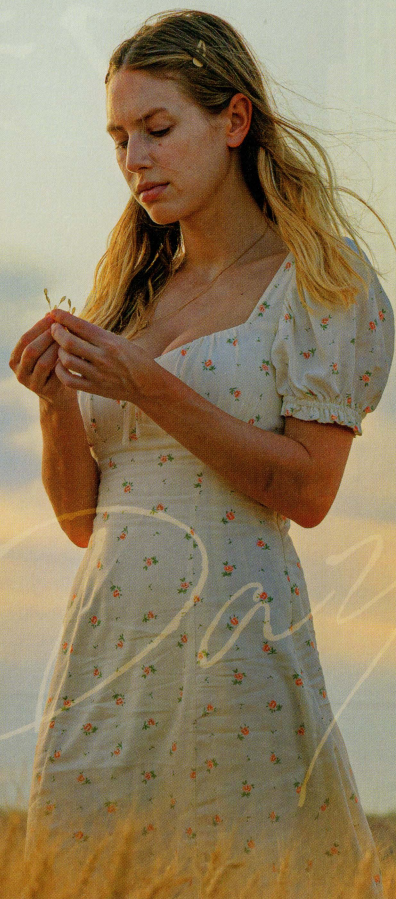
Story 1992年、全米にショッキングなニュースが流れる。アメリカ最大級の贖札事件の犯人であるジョン(ショーン・ペン)が、裁判を前にして逃亡したのだ。彼にはジェニファー(ディラン・ペン)という娘がいた。父の犯罪の顛末を聞いたジェニファーは、こうつぶやく——「私は父が大好き」。史上最高額の贖札を非常に高度な技術で偽造したジョンとは、いったいどんな男だったのか？父の素顔を知っても愛情は変わらなかった娘との関係とは？ジェニファーが幼い頃から「平凡な日々を見違えるほど驚きの瞬間に変えた」父との思い出を宝物のように貴い、だからこそ切ない日々がひも解かれていく——。

全部、嘘だったの？

大好きな父は犯罪者だった—— 胸をしめつける衝撃の実話

原作はジャーナリストのジェニファー・ヴォーゲルの回顧録。『ミスティック・リバー』『ミルク』で主演俳優としてアカデミー賞®を受賞し、監督作『イントゥ・ザ・ワイルド』が同賞2部門にノミネートされたショーン・ペンが構想15年をかけて監督・主演を果たした。ジェニファーには彼の実娘であるディラン・ペン。ヒーローのような父への憧れがその実像を知ることと反抗心へと変わり、もがきながらも自立した結果、弱さや矛盾に満ちた父への愛情を深めてゆく娘を多彩な感情表現で演じきった。

タイトルの『フラッグ・デイ』とは、6月14日のアメリカ国旗制定記念日のこと。この日に生まれたジョンは、自分は生まれながらにして祝福されていると感じ、特別な存在として成功する当然の権利があると信じていた。それは彼の人生を大きく左右し、父と娘の重要な日になる。温かく正しいものだけが家族の絆ではなく、問題を抱えた不完全な人間を愛することができる美しさでもあり、観る者の心を激しく揺さぶる真実の物語。



flagday.jp

@showgate_youga

12.23 (fri) ROADSHOW

ムビチケオンライン券 ¥1,500(税込) 絶賛販売中!